## 編集後記 遥かなる沙悟浄

「はぁはぁ、ぜいぜい」と、なんとか鳥取砂丘の「馬の背」に登ると、吹き飛ばされそうな強烈な潮風で髪の毛はボサボサです。

ア**ヴニール労務事務所** 所長 柿野元博 http://www.avenir-sr.jp E-Mail avenir4you@gmail.com

けど、沙悟浄のモデルは



につもと あまり 変わらんど 普から林家三平 みたいやったわ

諸星大二郎さんは、孫悟空も猪八戒も沙悟浄も妖怪ではなく、人間として描いています。

もっとも三蔵法師は実際に天竺(印度)に経典を取りに行った実在の人物「玄奘三蔵」がモデルですから、 実際にお供をしたのも人間のはず。なので原作の「西遊記」より現実に近いかもしれませんね。(^o^)/ 人間とはいえ、キャラクターは、昔見ていた堺正章さん主演の特撮ドラマ「西遊記」と似ています。

夏目雅子さんが演じた、強い信念を持つ高貴で美しい三蔵法師。堺正章さんは短気だけどめっぽう強い孫悟空。 西田敏行さんは、グータラで我儘言うけど何となく憎めないムードメーカー猪八戒(ニ作目は左とん平さん)。

四田

明田

明田

明田

明古

のは、

グータフで

技権

言つけ

で何となく

情めない

ムードメーカー

著八州

(二作目は左とん平さん)

そして

カッパ

姿の沙悟

浄が岸部

シローさん。

その沙悟浄は関西弁でキャラ付けされているものの、なんとなく他のレギュラー陣に 比べると影が薄くて、正直あまり人気がなかったように思います。(^^ゞ

そんな沙悟浄にスポットをあてた小説が、**中島敦**の「**悟浄出世**」と「**悟浄歎異 一沙門悟浄の手記**一」です。「悟浄歎異」では、行動者たる悟空とは真逆に一歩前に出る勇気がなく傍観者であることを悔いていながらも、やはりその一歩をまだ躊躇してしまう沙悟浄の苦悩を描いています。悩み多き沙悟浄がなんとも人間的です。

玄奘三蔵は、唐国内で乱れた仏教を正すため仏教の原典を求め天竺を目指しました。 なんと17年かけて天竺(インド)から仏教の経典や仏像を唐に持ち帰ったレジェンドです。 無謀ともいえる大プロジェクトを成し遂げたチームはどんなチームだったのでしょう。 中島敦でなくても西遊記の登場人物に思いを馳せてしまいます。(@o@)

前述の「悟浄歎異 一沙門悟浄の手記―」の中に、沙悟浄の自虐めいた心の内の言葉があります。

「この旅行における俺の役割にしたってそうだ。平穏無事のときに悟空の行き過ぎを引き留め、毎日の八戒の怠惰を戒しめること。それだけではないか。何も積極的な役割がないのだ。」 おいおい、そこがいいのだよー、と読んでて僕は半泣きで思いました。(>\_<;) でも、そんなせっかくの助言や注意も相手の心に届かずにチームが崩壊することもあります。

米の心理学の権威メラビアンが発表した「**メラビアンの法則**」をご存じでしょうか?

言葉以外の要素(視覚、聴覚)がコミュニケーションに与える影響を示したものです。感情や印象を伝える際、**言葉の内容が7%、声のトーンが38%、表情や態度などの非言語的要素が55%**を占めるとされています。

対人コミュニケーションにおいては、話す内容以上に非言語的要素が重要です。

天竺への旅を成し遂げた理由の一つに、調子こいた**兄弟子を心から諫める、沙悟浄の存在**があったのかもしれません。リーダーの法師にとって沙悟浄はきっと心強かったことでしょう。

口先だけじゃ 伝わらないのよ

先日報道された、羽田空港の手荷物検査場で検査員が窃盗を繰り返していたという事件、必要な検査をはしょっていた自動車メーカー、集団暴行やパワハラがあった名門高校野球部に有名歌劇団。

おそらく共通するのは、周りの間違いに気づこうとしない、あるいは見て見ぬフリをする組織の土壌です。

来年には「**改正公益通報者保護法**」が施行され**内部通報者の更なる保護**が図られることになりますが、

そもそも公益通報云々の前に、組織内で改めて目標を共有し、

思ったことを言い合える「心理的安全性」の高い職場にしたいものです。

皆さんの職場には、意見してくれる「沙悟浄」はいるでしょうか?**(^\_-)**-☆

